

フードバンク山梨 第17回 定期総会

だれもが食を分かちえる社会のために



日時：2025年5月28日（水）13：30～
会場：山梨フードバンクセンター

2025年度 総会 あいさつ

認定NPO法人 フードバンク山梨
理事長 米山けい子

「すべての子どもが育った環境にかかわらず、
笑顔でいられる社会をつくる」事を目指して

日頃より「フードバンク山梨」の活動に温かいご支援と
ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度は、物価高騰の影響が続く中、
食の支援を必要とするご家庭が一層増加いたしました。
しかしながら、地域の皆さまの変わらぬご支援のおかげで、
シングルマザー世帯をはじめ、延べ1万世帯以上に食料を
届けることができました。深く感謝申し上げます。

昨年実施した「フードバンクこども支援プロジェクト」では、
1,048世帯を対象にアンケート調査を行いました。
その結果1人1日あたりの平均食費は417円、
一食あたりにすると約139円という
非常に厳しい数字が明らかになりました。
これは、総務省の家計調査（2023年度）の
全国平均853円と比較しても半分以下です。

このような状況では、特に成長期にある子どもたちにとって
必要な栄養バランスの取れた食事を確保するのが難しく、
将来的な健康や発育へのリスクが高まっています。
さらに、「子どもには食べさせるが自分は食べない」という保護者の声も多く、
家族全体の健康状態への懸念も深まっています。
これは、将来にわたる貧困の連鎖を防ぐためにも、
社会全体で取り組むべき重要な課題です。

アンケートの記述欄には、多くの感謝の声が寄せられました。

- ・「物価高でおかずが一品だけの日もありますが、フードバンクさんの支援に感謝しながら過ごした一年でした」
- ・「たくさんの食べ物が入った箱は、まるで宝石箱のように、家族に笑顔を運んでくれました。子育てが終わったら、今度は私が支援する側になりたいです」
- ・8歳の女の子からは、「クリスマスにこういうプレゼントがあると嬉しいです。ありがとうございます♥」という心温まるメッセージも届いています。

子どもたちの笑顔や、保護者の皆さまの思いが、私たちの活動の原動力です。
「すべての子どもが育った環境にかかわらず、笑顔でいられる社会をつくる」

ことを目指し、これからも助け合いの輪を広げ、
温かな循環社会を皆さんとともに築いてまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



認定NPO法人フードバンク山梨 第17回定期総会

次 第

1.開会の言葉

2.理事長挨拶

3.議長選任

4.書記及び議事録署名人の選出

5.議案審議

第1号議案

2024年度事業活動報告・活動決算報告・監査報告
承認の件

第2号議案

監事選任の件

第3号議案

定款一部変更の件

6.報告事項

- (1) 2025年度事業活動計画及び活動予算 報告の件
- (2) 第9期理事会役員 報告の件

7.議長解任

8.閉会



第1号議案 2024年度 事業活動報告・活動決算報告・ 監査報告 承認の件

持続可能な開発目標(SDGs)に則った活動を推進しました。



* SDGsとは、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、誰も置き去りにしない取り組み。2030年までに持続可能な世界を実現するための17の国際目標。

フードバンクに関する目標



I. 食料支援を通して貧困をなくす活動

(1) 「つながるスマイルプロジェクト」

支援数 のべ **2025** 世帯

物価高騰や失業などの影響を受けた世帯へ年10回支援を実施しました

基本情報

■県内フードバンク（FB）団体との連携で実施

県内FBの意向を調整し、配布会場・日時を決定

■定期的に食品配布会（フードパントリー）を開催

2024年4月より翌年3月にかけて、10回実施

■支援基準を、より経済的に困窮している世帯に限定

生活保護を除く住民税非課税・児童扶養手当全額受給・給付型奨学金受給のいずれか



会場配布の様子

2024年度のトピック

■申し込み方法の見直し

支援が必要な対象世帯へ食品を届けるため事前申し込み制を取り入れ、フォーム上で対象世帯が把握できる仕組みの構築を行った。対象であれば年度初めの申し込みで年度内の支援を受けられるようにし、利用者と運営の事務作業を効率的にした

■定期的な冷凍食品の配布

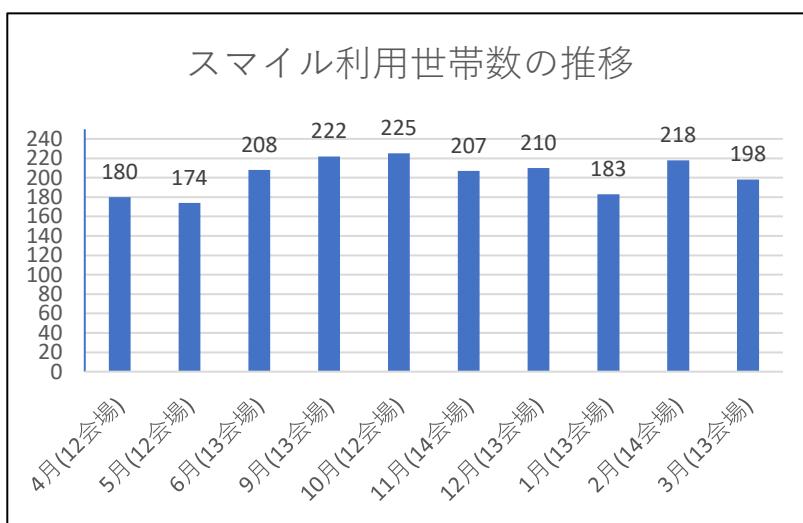
冷凍食品の取り扱いが可能になり、常温食品の他に冷凍食品の配布を定期的に実施した。

■各県内FB会場での食品配布を年間10回実施した

昨年度から会場が増え、14会場が拠点となり配布を実施した。物価高騰で影響を受けている世帯に加え、留学生や高齢者世帯の申請も多くみられた



喜びの声が多かった冷凍食品



各団体が支援対象であると把握している世帯の数も含めると、平均して毎回約200世帯への支援となった

皆様の入力負担軽減のため、申込方法を変更しました
2024年度つながるスマイルプロジェクト
事前登録のお知らせ
~食品を必要とする方へ無料で食品をお配りします~

対象・ご利用条件
以下の①～④を全て満たし、**食べ物を必要としている**世帯
① お渡した物品の**転売・転用をしない**旨を誓約できる方
② 現在、フードバンク山梨から毎月定期的に食品が届く支援を**利用していない**世帯
③ 山梨県内在住で、以下のいずれかにあてはまる世帯※裏面参照
●**住民税非課税**世帯（生活保護受給は対象外）
●**児童扶養手当全額受給**（一部受給は対象外）
●各種**給付型奨学金**を受給する大学生・留学生
④ 登録時に、上記③が分かる書類の添付が必要です
・世帯ごとに申請に限定。**世帯主名**で申請してください

食品の受け取りを希望の方はまず基本情報の登録をお願いします
登録完了の方に4月の会場などの詳細をご連絡します

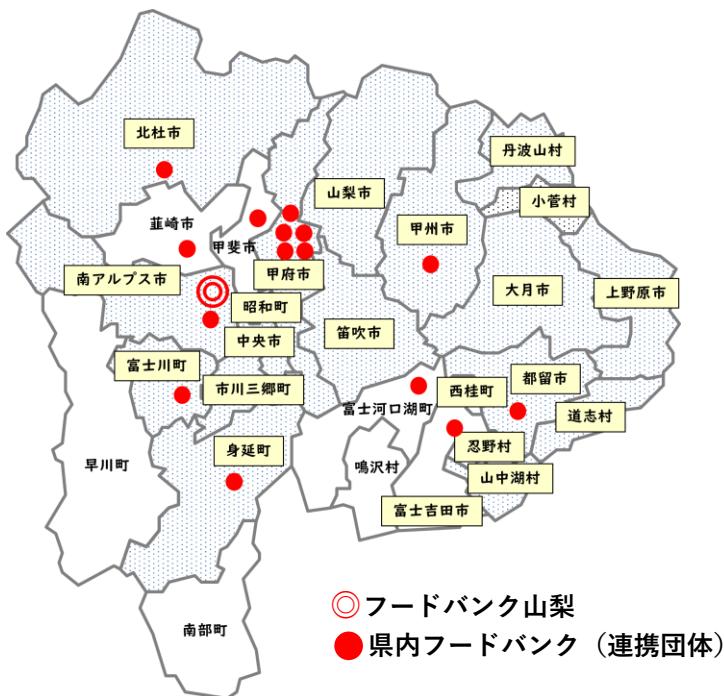
4月に食品の受け取り希望の方の事前登録は
2024年3月31日(日) 17:00まで

フードバンク山梨ホームページ内の
専用ページの入力フォームでお申込ください→
※LINE登録済みの方も今はフォームから
入力をお願いします。

事前登録の際の説明をホームページに掲載



■連携して食料支援を実施した拠点



県内フードバンク数：15団体

1	NPO法人こどもサポートやまなし(甲府市)
2	地域総合子ども家庭支援センター・テラ(甲府市)
3	やすらぎの家(甲府市)
4	ファミリーホーム「かいふじホーム」(南アルプス市)
5	よりそい北杜(北杜市)
6	韮崎だんばらの会(韮崎市)
7	山梨クリナース酒折(甲府市)
8	NPO法人ぐんないや-織syoku- (都留市)
9	認定NPO法人富士の緑とフードサポート(富士吉田市)
10	協力団体ふじざくら (富士河口湖町)
11	社会福祉法人ぎんが福祉会(甲斐市)
12	株式会社シャトレーゼ(身延町・店舗)
13	更生保護法人・以徳会 (甲府市)
14	まちの保健室・わくわくカフェ(富士川町)
15	社会福祉法人ぶどうの里(甲州市)

子育て世帯向け緊急食料支援

支援世帯数 **166** 世帯

昨年12月17日～今年1月5日にかけて、当法人の食料支援を利用する子育て世帯を対象にアンケート調査を実施。多くの世帯が長引く物価高騰の影響を受け、苦しい生活を余儀なくされている実態が浮き彫りになった。この状況を受け、春休みを前に子育て世帯を対象に緊急支援を実施。

基本情報

■日程、配布方法

3月28日・29日の2日間フードバンク山梨にてドライブスルー方式で直接食品を配布

■対象世帯

現在、フードバンク山梨の定期的な支援を受けていない、
18歳以下の子どものいる住民税非課税世帯または
児童扶養手当を全額受給する世帯



広報に使用した媒体



ドライブスルー方式で食品をお渡し



お米や野菜セット、冷凍食品を配布

子育て世帯向け緊急食料支援

28日	82世帯
29日	84世帯
合計	166世帯

(2)「食のセーフティネット事業」の充実

支援世帯数 **406** 世帯

10市町の行政や社会福祉協議会と連携し、定期的な食料支援年間を通じて、延べ6,047件、約61トンの支援を行いました。
支援数は全体で前年比13.3%の増加、高齢者世帯は3月比で43.6%増加

基本情報

■10の市町・社会福祉協議会と連携した支援を実施

(南アルプス市、中央市、笛吹市、山梨市、都留市、上野原市、昭和町、市川三郷町、身延町、富士川町)

■支援頻度・期間

1ヶ月に2回食品の発送 最大3ヵ月間

※窓口担当者の判断により支援期間の延長あり

■対象とする世帯

連携する行政・社会福祉協議会の窓口担当の判断により、依頼された生活困窮世帯。

ひとり親世帯、多子世帯、高齢者世帯、外国籍世帯など



2024年度のトピック

■総支援件数

2024年度は延べ6047件。

前年度の延べ5337件より13.3%増加。

■総支援世帯数

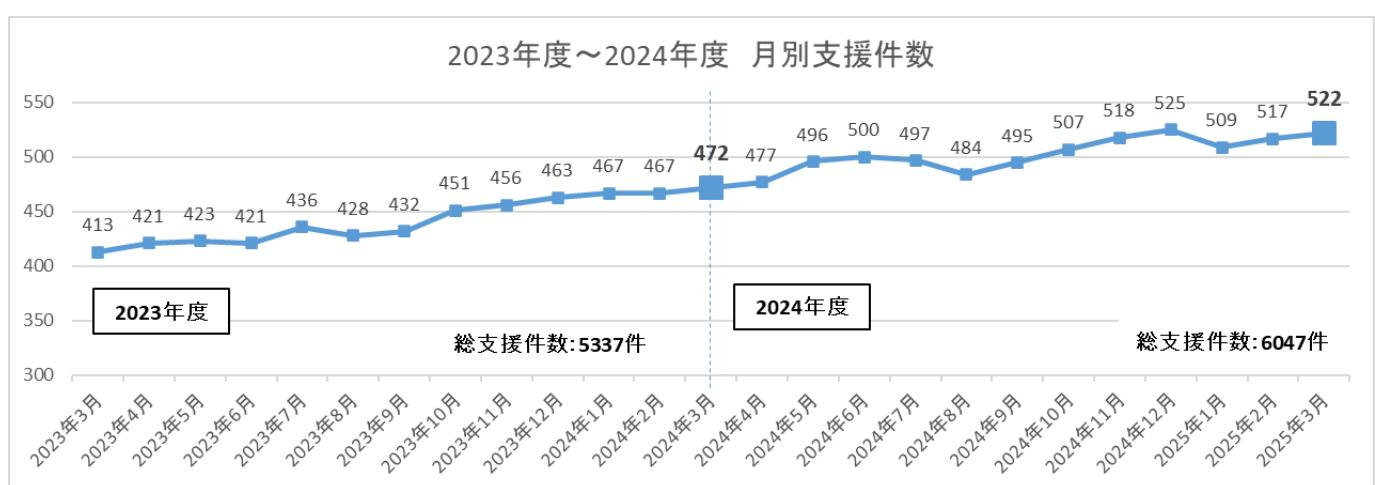
2024年度は延べ406世帯。

前年度の延べ422世帯より3.8%減少。

■月別支援件数

2025年3月は522件。

前年度3月の472件より10.6%増加。



■支援者の状況

物価高騰の影響、ひとり親・多子、精神疾患を患う親もしくは子、就労の不安定、高齢者独居、収支管理能力が低いなど重層的支援が必要とされる申請世帯が多い。

■申請者世帯別状況

2024年3月の支援件数522件のうち、

高齢者（65歳以上）世帯は201世帯。前年度3月の140世帯より43.6%増加。

また、母子世帯では172世帯。前年度3月の125世帯より37.6%増加。

子どもがいる世帯（19歳以下）は247世帯であった。

申請が多い世帯と傾向については以下の通り。

●ひとり親世帯

前年同様に、養育費を受けていない家庭が大半、親や子どもに精神や身体障害がある世帯が多く、安定した就労・収入が得られていない。ひとり親世帯の出産ケースも多かった。

●高齢者世帯（65歳以上）

前年と同様に年金だけでは生活が苦しい。単身世帯に関してはライフラインが整っておらず、調理能力も低いため配送する食品に考慮が必要なケースが増加。

■利用者とのコミュニケーションやつながりをテーマに「ふーちゃん通信」を作成。

季節や時事など身近な話題をはじめ、食育コーナーや調理レシピなどを掲載している。

また、生活の悩みや近況、送っている食品についての感想などをQRコードから相談フォームにてを集めている。

■山梨英和中学・高等学校様から季節に合わせた折り紙作品のご提供。

毎年季節に合わせた折り紙作品をいただきしており、食品と一緒に同封をしている。

●折り紙作品を通じて人の温かさを感じる
●作品が入っていて季節感を感じたなどの声をいただいた。



山梨英和中学・高等学校ひまわり部様から
歳時ごとに寄せられる折り紙作品

第162回

ふーちゃん通信

～食品に沢山の愛をこめて～



2025年2月1日発行
誰もが食をわかる社会のために
認定NPO法人フードバンク山梨
〒400-0203
山梨県南アルプス市徳永1603-1
Tel: 055-298-4844
Fax: 055-298-4885
E-mail: info@fbymama.com

2月 厳しい寒さと大雪に注意

2月は電気代が値上がり、室温対策で対応を

●太陽の光を室内に取り込む



日中はなるべくカーテンを開け太陽光を取り入れましょう。窓際の荷物は片付けて日差しを遮るものなくなると、より日光が部屋に入りやすくなります。

●暖房器具を窓側に置く



窓際で暖房を温くことで冷たい空気の流入を防げて、暖かい空気が部屋を循環しやすくなります。

●部屋を加湿する



洗濯物や濡らしたタオルでも効果的。温かい汁物を作る際の湯気も効果あり♪

食育コーナー

～朝ごはんが体温を上げる～



私たちが食べ物を食べると、胃腸は食べ物を消化・吸収するために動き始めます。

その際に胃腸が動く時にエネルギーを消費し熱が作られます。
食事をすると体温が上がるのはこのためです。

寝ている間に体温は低くなると言われており、とくに朝が一番強く働くと言われています。



体温を上げるために朝食に取り入れたいのは・・・

たんぱく質を多く含む、

肉、魚、卵、大豆・大豆製品

ただし、食事全体の栄養

バランスも考えましょう！

【参考サイト】公益財団法人ダノン健康栄養財団
食育情報サイト「ごはんだもん！ げんきだもん！」

同封 折り紙作品を同封します♪

Happy Valentine

山梨英和中学・高等学校YCAひまわり部
のみなさんから「バレンタイン」をテーマ
にした折り紙作品をいただきました♪

ご注意ください！
包装に賞味期限の記載はありません

こちらのお菓子の
賞味期限は
**2025年
5月15日**です

期限までにお召し上がりください♪



連絡事項 皆さんの近況について教えてください

お送りしている食品について、生活に関するお悩みなど、お気軽にご相談ください♪

次回の食品発送は**2月21日（金）**です。

2月22日(土)、23日(日)、24日(月)のうち、**ご指定の曜日**にお届けします。

※支援終了等で上記に該当しない方もいらっしゃいます。ご了承ください。フードバンク山梨

2月に同封した「ふーちゃん通信」

■利用者からの相談やお悩みなどは、QRコードによる相談フォームを設置。

23年度から導入し、利用者からの近況や悩みなどをいつでも挙げられる体制へ。定期的に近況を報告してくれる利用者も増えている。以下に相談フォーム内容の一部を掲載。

精神疾患があり中々仕事が見つからぬ
いのが一年続いており、経済的に心配
な日々を送っております...
先日職業訓練へ受講する事が決まり、
不安もありつつ、息子がお熱を出さな
いことを祈るばかりです...自分も体調に
は気をつけて通いたいです。

復職しましたが、なかなか体と心がつい
ていけず。まだ傷病手当も振り込まれな
いのですが、1時間働ければその分はお
金になると思って頑張ります。いろん
な支払いも出来ず、電気料は督促が来た分
だけなんとか支払いました。
みんな滞納。みじめです。

物価の高騰の悩みはつきず...
なんとかならないものかと思っている今
日この頃です。なかなか思うように、仕
事もできず、収入が少ない状況ですが、
食料支援はとてもありがたいです。
おかげさまで、元気に過ごすことができ
ています。

夫の仕事がなく...世帯の収入が少ないこ
とは悩みですが...生活必需品はどれも高額
になり、大変です。今回はゴールデン
ウィークの初日に届き、世間はおでかけ
日和でしたが、娘と届いた食品を楽し
ました。とても嬉しいです。ありがとうございます。

2024年度緊急支援

連携している10自治体やフードバンク山梨の支援につながっていない方々からの「ここ何日
か食べていない」「所持金が1000円程度しかない」という緊急の声に対応した当法人独自支
援を実施。併せて、住まいの自治体や相談窓口等の情報を提供している。

行政の窓口担当者から地域の支援状況について聞き取りを行った。それぞれの地域特性があ
る中で各担当者が支援を行っている。

■支援機関への聞き取り

高齢者、精神障害を抱えた方の相談が急
増している。
高齢者に関しては物価高騰の影響もあり
年金だけでは生活が厳しい状況。
精神障害に関しては、障害年金の受給も
あるが収支管理ができず家計の管理が難
しい状況が多い。

食料支援の有無については、慎重に見極
めている。困窮の背景には、ギャンブル
依存や精神・発達障害による家計管理能
力の低下などの事例もある。
本来は生活ができる程度の収入があるも
のの収支管理ができず困窮に繋がってい
る方もいるとのこと。



(3)フードバンクこども支援プロジェクト

支援数 のべ **2,956** 世帯

長期休暇の子どもの欠食を防止し、健やかな成長をサポートする「フードバンクこども支援プロジェクト」では、延べ2,187世帯（子ども延べ4,169人）を支援しました。

基本情報

■行政機関と連携

子どもの貧困対策連携協定を締結した、南アルプス市・中央市・笛吹市・山梨市・都留市・北杜市・大月市・上野原市・昭和町・身延町・山中湖村の11市町村と連携。管内の小中学校に通う準要保護世帯に学校を通じて当法人の食料支援案内を配布。希望する世帯は直接当法人に申し込み。県内各市町村の行政窓口には申請書を配布。

■支援頻度・期間

7月・8月の夏休み期間中に2回。12月の冬休み期間中に1回。

■対象とする世帯

準要保護世帯（就学援助などを受給している世帯）。18歳以下の子どもがおり、各行政窓口で支援が必要と判断された世帯。



高校生と一般のボランティアによる箱詰め作業の様子



食品や日用品と共に寄贈品の文具やフルーツポンチセットを送った



フルーツポンチセット



クリスマス仕様にデザインした箱



クリスマスケーキセット

夏の取り組み

■親子時間のプレゼントとしてフルーツポンチセットを用意

親子でフルーツポンチを作り、夏休みの思い出にしてほしいとの思いから簡単に作れるセットを作成。「子どもたちが大喜びでした」「子どもと一緒に作って楽しい時間を過ごせました」等喜びの声が多く寄せられた

2024年夏フードバンクこども支援プロジェクト (7月・8月延べ数値)

支援世帯数	1,453世帯
18歳以下の子どもの人数	2,772人
母子世帯数割合	1,075世帯（全体の73%）
連携学校数	114校

冬の取り組み

■箱をプレゼント仕様に

利用している方々にクリスマスに合わせて食品が届く特別感をお届けしたいという思いから、初めてクリスマスデザインの箱を使用して送った

■夏に続き、ケーキセットを用意し親子時間のプレゼント

クリスマスケーキの用意が難しいとの声を受け、簡単に作れるケーキセットを企画。「子どもと一緒に作って楽しい時間を過ごしました」「今年は高くてケーキを諦めていたので良かったです」等多くの声が寄せられ、大変喜ばれた企画であった。

作成したケーキの写真の提供をLINE呼びかけ、様々な工夫を凝らしたケーキの写真が集まった

2024年 冬 フードバンクこども支援プロジェクト

支援世帯数	734世帯
18歳以下の子どもの人数	1,397人
母子世帯数割合	544世帯（全体の74%）
連携学校数	114校



サンタ帽を着用して箱詰め

利用者からの声

箱を開けるのがとうきとうきました。
中を開けると色々はいっててとても
うれかったです。夏なのにサンタさん
が来たみたいでした。次とどのが
とても樂のしみです。おいしくいた
だきます。フードバンクにご協力して
くださったみなさまありがとうございます。
♡

いつも暖かいご支援ありがとうございます。
今回はケーキセットが届いて小4の子ども
は嬉しくて「やったーやったー」とはしゃ
いでいました♪ケーキが高くて今回はなし
でいいかなと半分諦めていましたが、この
セットがきたので作ることができて本当に
良かったです。とてもおいしかったです。
他にもお菓子がたくさんあり、カレーや日
用品といろいろ出てくるので大人もワクワ
クして開けました。家計は苦しいですが、
頑張ろうと思います。

たくさんの食品をありがとうございました。
箱を開ける楽しみもありがとうございました。
子どもたちが大喜びです。子どもたち
がフルーツポンチを作り食べている姿を見て
幸せを感じました。作り方が難しくないので、
障がいの子にも作れました。ませま
ぜしている姿は笑顔いっぱいです。

今回も子どもたちにフードバンクのありが
たさを伝え、食事をさせてもらいました。
暑い中、箱詰めをして届けてもらったこと
に感謝しています。
本当にありがとうございました。

クリスマスボックスが届いた時、子供達と
ワクワクしながら開けました！中にクリスマ
スケーキを作るキットが入っていました。
早速、クリスマスイブに作りました！電子
レンジで作るケーキは初めてで、ちゃんと
作れるか心配でしたが無事上手に
作れました！子供たちも自分で作る
ケーキに大はしゃぎでした！楽しいクリスマ
スがすごせてとても喜しかったです！
はじめの、クリスマスケーキだからか
どうかに作れるかをどうして、で
もどうかに作れたのかおかしかったです
また、クリスマスケーキをかいは作り
たいと、思いました！メリクリスマス！！



利用者から寄せられたセットを使ったケーキの写真

基本情報

■より重篤な世帯への支援

「フードバンクこども支援プロジェクト」を利用している世帯で申し込みがあった住民税が非課税の101世帯に食料支援を実施した。

■支援頻度・期間

7月・8月の夏休み期間中に2回。12月の冬休み期間中に1回に加え、10月・3月に各1回、さらに8月に冷凍食品を1回で計6回。

取り組み

■野菜セットの購入

3月の発送時には「物価高騰の影響で購入が難しい」との声もあった野菜を用意。カレーのルウとあわせて、箱の中身だけで一食となるセットを作成し通常の常温の食品に加えて送った。

フードバンクこども支援プロジェクトプラス
(10月・8月・3月延べ数値)

支援世帯数	303世帯
18歳以下の子どもの人数	543人



支援申し込みのチラシ



喜びの声が多かった野菜セット

利用者からの声

今回もお米やレトルト食品、お菓子等をいろいろとありがとうございました。そして今回はカレーの材料が入っていたことにはビックリしました。家にあったお肉でカレーを作ることができ、みんなで美味しいいただきました。まだまだお米が高いのでお米をいただけたことが本当に嬉しかったです。お米が家にあるって何か安心する気持ちになりました。まだまだ物価高騰で大変ですが頑張ります。ありがとうございました。

いつも定期的に支援いただきありがとうございます。ひとり親で男の子を育てているので食費が大変かかります。おやつは週1買えれば良い、果物は給食頼みです。一番エネルギーとなるお米があればなんとかなるので嬉しいです。うしろめたさもありながら支援いただいていますが、子どもたちが荷物を開けるときワクワクしてくれる姿を母として見られてやっぱりフードバンクさんに感謝だな！と思います。

笛吹市こども家庭支援事業

基本情報

■笛吹市より受託

笛吹市の小中学校に在学中のお子さんがいる準要保護世帯に対し、「フードバンクこども支援プロジェクト」の3回の支援に加え、7月に1回、12月に1回食料支援を実施する。



笛吹市こども家庭支援事業（7月・12月延べ数値）

支援世帯数	409世帯
18歳以下の子どもの人数	810人

利用者からの声

いつも大切な食品や物資をたくさん送ってくださりありがとうございます。子どもたちと開けるのを楽しみにしています。物価が上がった今ひとり親には買い物に1回行くのもためらう状況なので本当にこのフードバンクさんに助けられています。ありがとうございます。

発送した食品や日用品



北杜市子どもフードサポート事業

基本情報

■北杜市より受託

北杜市の小中学校に在学中のお子さんがいる準要保護世帯に対し、「フードバンクこども支援プロジェクト」の3回の支援に加え、3月に1回食料支援を実施する。



北杜市子どもフードサポート支援事業

支援世帯数	57世帯
18歳以下の子どもの人数	102人

利用者からの声

初めての利用でしたが箱の中身が想像以上の内容で感激しました。子どもたちもまるで「玉手箱」を開けるかのように喜んでいました。子どもたちに栄養のあるものを食べさせてあげたいと思います。ありがとうございます。

手紙を入れて心の支援にも繋げる



(4)乳幼児応援プロジェクト

基本情報

■支援頻度・期間

4月～5月、7月～8月、11月～12月の年3回

■対象とする世帯

フードバンク山梨が各プロジェクトで支援している0～3歳のお子さんがいる世帯

■県内のドラッグストアチェーンと連携

「おむつ」「ミルク」を県内29店舗で引き換えることができるチケットを作成。フードバンク山梨が実施している4つの食料支援事業を利用している、対象世帯へ食品とともに配布した。チケットを利用して月齢に合った商品をドラッグストアチェーンの引き換えていただいた。



食品の直接配布会場の様子



チケット配布時に合わせて
子どもたちが喜ぶお菓子や雑貨も展開

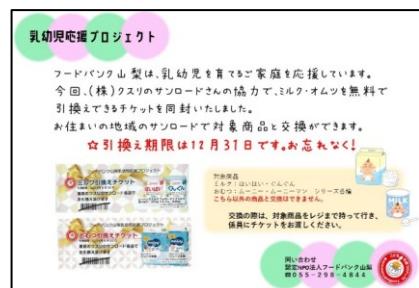
乳幼児応援プロジェクト 商品引換・配布件数		
	おむつ	ミルク
4月～5月（1回目）	161（配布:197）	74（配布:91）
7月～8月（2回目）	116（配布:284）	64（配布:100）
11月～12月（3回目）	178（配布:319）	65（配布:186）

利用者からの声

本当に物価高騰により、今まで以上に生活は厳しくなりました。子どもの食べたいメニューのリクエストに応えてあげられない日が多く、親として不甲斐ない気持ちがある中、このような支援がありがたく感謝いたしております。子どもが好きそうな食品が沢山入っており、また、自分のものは後回しでいたところに化粧品もありまして嬉しい気持ちでおります。お米も本当に助かります。いろいろな方の支援があり、いただけることに感謝し子どもといただきます。ありがとうございました。



ミルク・おむつの引換えチケット



対象世帯へ配布したチラシ

(5)高校生への食料支援の継続

支援数のべ **1,507** 世帯

高校生のいる世帯へ定期的な食料支援をのべ1,507世帯、約22トン行いました。県内の高校46校からの申請があった。高校生はパソコン等の購入やお弁当が必要で、食費もかかる事から物価高騰の影響が深刻で食事の回数を減らす、食べない等、成長にも悪影響があり、見逃す事が出来ない状況である。

基本情報

■冷凍食品の取扱いを開始

冷凍食品のニーズと受け取り方法について聞き取りを行い、試験的に実施した。

■支援頻度・期間

- ・ドライ食品：1ヶ月に1回発送。（年間12回）
延1,198世帯、約21トンを支援
- ・冷凍食品：5回実施（6月～10月、手渡し・発送）
延309世帯、約1トンを支援

■対象とする世帯

- ・高校生等奨学給付金受給
- ・世帯主が住民税非課税
- ・児童扶養手当受給

2024年度のトピック

■支援世帯数は155世帯。

世帯構成人数は、574人。その内、子どもは253人。

①支援世帯の83%は母子世帯

母子世帯	夫婦世帯	祖父母と孫	父子家庭
129世帯	20世帯	4世帯	2世帯

②1世帯あたりの子ども人数は1～2人が78%。

世帯状況 /子供人 数	1人	2人	3～5人	6人以上
母子世帯	84世帯	30世帯	13世帯	2世帯
夫婦世帯	9世帯	5世帯	5世帯	1世帯
祖父母	3世帯	1世帯	—	—
父子家庭	2世帯	—	—	—

③冷凍食品のニーズ

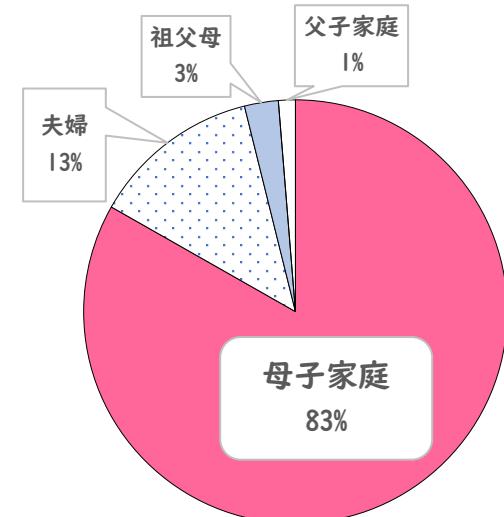
- ・高校生なので、毎日お弁当や夕飯が大変です。お弁当はほぼ冷函食品ですが、安いものは小さいので足りず、おむすびをプラスしています。
- ・家の朝夕の食事は質素にできても、学校へ持っていくお弁当は、それなりにもたせたいという思いもあり・・・大変です。

高校生 支援

「食」で高校生を応援します！

認定NPO法人フードバンク山梨は、「食」の支援を必要とする高校生の子どもがいる世帯へ、毎月1回無料で食品をお届けします。

食料の配達を希望される方は裏面に必要事項を記入し、フードバンク山梨まで郵送してください。



冷凍食品例



■24年度申請があった学校数は46校。

6月の高等学校校長会で説明し申請書を配布。世帯主が直接申請書を郵送。

中央高校（14世帯）、笛吹高校（13世帯）、甲府工業高校（9世帯）、かえで支援学校（8世帯）、青洲高校（8世帯）、甲府商業高校（7世帯）、つくば開成高校（通信）（7世帯）、都留高校（7世帯）、甲斐清和高校（6世帯）、日川高校（6世帯）

・その他申請があった学校は以下の通り。

巨摩高校（5世帯）、都留興譲館（5世帯）、韮崎工業高校（4世帯）、富士北稜高校（4世帯）、富士河口湖高校（4世帯）、甲府城西高校（3世帯）、甲府昭和高校（3世帯）、駿台甲府高校（3世帯）、帝京第三高校（3世帯）、桃花台学園（3世帯）、韮崎高校（3世帯）、農林高校（3世帯）、山梨高校（3世帯）、吉田高校（3世帯）、上野原高校（2世帯）、角川ドワンゴ学園高校（2世帯）、甲府南高校（2世帯）、白根高校（2世帯）、東海大付属甲府高校（2世帯）、ひばりが丘高校（2世帯）、富士学苑高校（2世帯）、山梨学院高校（2世帯）、塩山高校（1世帯）、鹿島朝日高校（1世帯）、甲府西高校（1世帯）、甲府東高校（1世帯）、星槎国際甲府高校（1世帯）、第一学院高校（1世帯）、富山未来学園みらい高（1世帯）校、日本航空高校（1世帯）、富士宮北高校（1世帯）、北杜高校（1世帯）、身延高校（1世帯）、やまびこ支援学校（1世帯）、わかば支援学校（1世帯）、甲陵高校（1世帯）

■申請書から見る生活状況

- ・物価高騰のため、生活が厳しくなっている。収入に対して支出が多く、食費を抑えているので、とても子供たちに申し訳ない（母子家庭）
- ・とても食料に困窮しており、困っている（夫婦7人世帯）
- ・父は闘病中で働きず収入無し。母はパートで月9万円程度。夏休み等は食事代がかかり、治療費も高額なのでお願いしたい（夫婦4人世帯）

■利用者からの喜びの声

3人で、協力してできることは力合わせてやっています。毎月食料を頂けるおかげで娘の学校の模試のお金を払えて医療費を払うことができました。本当に会計になって領収書を手渡された瞬間涙がこぼれました！フードバンクを受けてから娘たちが明るく笑顔が増え前より楽しくなりました！

■利用者とのコミュニケーションやお金の心配をテーマに「おたより」を作成。

季節や時事など身近な話題を投げかけるとともに各種奨学金や制度の情報等を掲載するなどの企画も実施。

■利用者からの相談やお悩みなどは、

QRコードでも受付。申請世帯のほとんどがスマートフォンを利用しており情報を迅速に共有できるよう、利用者からの相談やお悩みに対しては、電話や「おたより」内のQRコードから受け付ける。

■公式LINEの導入

次回の配送日について、毎月のおたよりに掲載しているが、問い合わせが多いためLINEを導入し、次回配送日の連絡を行っている。

なお、現在の登録数は108世帯。



(6)相談支援の実施

フードバンク山梨の食料支援を受けている世帯へ、
相談支援・訪問支援を行いました。

基本情報

■相談支援、訪問支援の実施

食のセーフティネット事業をはじめ、各食料支援の利用者については、返信用ハガキや相談フォームの相談内容によって、必要な世帯への電話相談や訪問支援を実施。自治体やフードバンク山梨の支援に繋がっていない生活困窮者からの電話での問い合わせや相談についても電話相談やアウトリーを実施。

■対象とする世帯

- ・フードバンク山梨の食料支援受けている世帯
- ・電話での問い合わせや相談のあった生活困窮者

2024年度のトピック

■各市の自立支援相談実績

県内5市（中央市、山梨市、笛吹市、都留市、上野原市）においては、毎月の食料支援と相談件数を報告している。

■電話相談

フードバンク山梨の食料支援を受けている世帯で、生活困窮が重篤な世帯や支援が長期化している世帯、新規で支援を開始した世帯などに定期的な電話連絡を実施し、現在の生活状況や近況、食品の活用などのヒアリング実施。利用者の状況によっては訪問相談を実施している。

■訪問相談について

食料支援を受けている世帯の中でより複合的な課題を抱えている世帯に対しては、訪問をし本人の状況や生活環境などを深く聞くことで、事情に合った情報提供や行政への相談アプローチの改善、支援物資の提供などに繋げ、状況の改善・解決を目指している。

■相談事例

相談や行政支援につながった一部事例を以下に記載する。

本人より相談連絡あり。行政窓口へと繋がり自立に向けて支援を開始へ。

【経緯】

家が火事により全焼し、食品がないため助けてほしいと本人より連絡あり。夫、妻、子ども3人で5人世帯。

【対応】

訪問支援を実施。火災後は実家に身を寄せていた。フードバンク山梨と連携しているため、本人への情報提供と自治体の窓口担当者へ相談。

【結果】

自治体への支援に繋がり、食のセーフティネット事業の支援も受けることができた。夫が傷病休暇中のため、仕事復帰をするまでの間、食料支援を実施している。



食品と一緒に同封しているおたよりに
相談フォームのQRコードを掲載

(7) 「フードバンク未来アカデミー」の実施

参加人数 のべ **147** 名

①Twinkle Stars Academy2024の開催

(プログラミングと英会話教室)

目的：プログラミングと英会話を身に着け、世界で活躍できる人材を育てる。

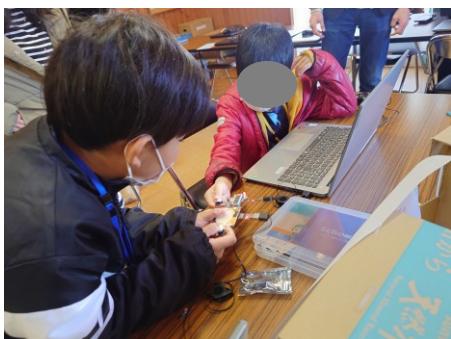
開催期間：2024年5月～2025年3月 全11回
毎月1回日曜日 10:00～14:00

登録人数：16名（小4～中3）／他サポーター3名
対象：フードバンクを利用する住民税非課税世帯
または児童扶養手当全額受給世帯の子ども

主催：(株)ヴィジョナリーパワー・フードバンク山梨
協力：(株)スクーミー・バンビュニバーサルこども園
イングリッシュプラス(株)・(株)まもかーる



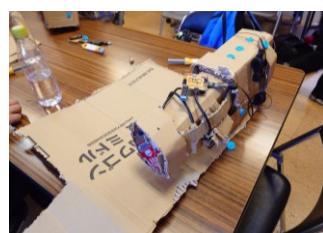
アルファベットをつかってゲーム



仲間と一緒に作品をつくる小学生



作品のアイディアを出し合う中学生



こどもたちの作品



2024年度修了式を終えて

子どもアンケートから

- * 英語でほめられてうれしかった
- * LEDや音、学校でやったことのないプログラミングができてよかったです
- * 自分で考えてゲームをつくったのが楽しかった
- * TSAの友だちのギャグが今までで一番おもしろかった

保護者アンケートから

- * TSAでは「自分らしくいられる」と言っていました
- * 先生たちにあこがれて、将来を考えているようです
- * 学校でも英語の成績がよくなりました

②企業と連携した子どもたちへの交流会・イベントの開催

タイトル：世界のトップレベルを知ろう！工場見学＆体験ツアー

開催日：2024年7月30日（火）9:00～17:00

参加者：15名（小4～中3）

Twinkle Stars Academy 2023&2024年度とももっ子
クラブ参加者

主 催：フードバンク山梨・ヴィジョナリーパワー株式会社

協 力：株式会社ササキ、サントリー天然水南アルプス白州工場
株式会社山梨交通

内 容：県内でトップクラスの事業所を見学し、経営者や従業員
からお話を聞くことで仕事・働くことについて学ぶ。

株式会社ササキでは社屋や工場見学、ものづくり体験
を行い、ランチルームで社員と同じ弁当を食した。

サントリー天然水南アルプス白州工場では体験ツアーに
参加し、環境問題についても学んだ。



（株）ササキ



詳しくは裏面をご覧ください▷▷

サントリー天然 白州工場

③ももっ子クラブ

参加人数 のべ 95 名

大学生と子どもたちが楽しく過ごす場所

目的：子どもたちと大学生・高校生が、みんなと一緒に勉強し、
遊び、楽しく過ごす居場所を提供する。学力の向上と
ロールモデルとなる大学・高校生との交流の場とする。
おやつや食品のお渡しも行う。

開催期間：2024年4月～2025年3月

月1～2回 土曜日 13:30～17:00

実施回数：15回

登録人数：7名（小1～中3）

対象：学習や生活に困難を抱えている子どもたち

開催場所：ひまわり支所（前期）

甲府市協働支援センター（後期）

主催：アラベスク（大学生ボランティアグループ）

- ・大学生＆高校生のお兄さんお姉さんと一緒に勉強やゲーム、
おしゃべりをして、楽しい時間を過ごしました。
- ・やりたいことが自由にできる居場所づくりを心掛けました。
- ・障がいのある子は、特性に合わせた学習支援を工夫しました。
- ・中学3年生2名には受験勉強に力をいれて支援し、志望の高
校に入学しました。
- ・学習や進学のアドバイスだけでなく、時には悩みや相談を受
けることもあります、ともに考えることもありました。



学習の時間
子どもに合わせて指導します



自由時間
卓球も楽しみました

シングルマザー支援

シングルマザー応援企画 Lachic(ラシク)

参加人数 のべ **51人**

フードバンク山梨の支援を受けているシングルマザーへのアンケート調査結果により立ち上がった支援。「自分らしく生きる」を応援する企画で11月から全5回実施した。

基本情報

■目的

日々、仕事や子育てに追われるシングルマザーへ自分のために時間を使い、生活や仕事に活かせる学びやコミュニティの場を提供し、心の充実を図る。

■開催期間

24年度はプレとして試作的に実施。

- ・2024年11月～2025年3月 全5回
毎月1回土曜日 10:00～14:00を基本として実施。



【11月交流会】

・旭陽電気株式会社にて

■対象

フードバンク山梨の支援を受けているシングルマザー

■人数

20名 ※各回ごとに参加者を募集

■実施内容

●各月特別レッスン

フードバンク山梨を会場として、以下の内容を実施。

- ・パソコン講座
アンケートにてニーズが多く、基本操作や実務に活かせるWord/Excel/PowerPoint講座を実施。
- ・協力企業とのコラボ企画
生活や仕事に活かせる講座を協力企業と企画し、体験を通じてシングルマザーの見聞を広げる。



【各月レッスン】

・パソコン講座

●交流会

地域貢献や子育て世帯への雇用に力を入れている協力企業様を実施会場として、トークセッションや企業説明などを通じて、参加者と企業様の交流を図った。



【1月レッスン】

・アンガーマネジメント講座

■協力企業

- ・旭陽電気株式会社
- ・ジブラルタ生命保険株式会社
- ・訪問看護ステーション信緑
- ・銀座ステファニー化粧品株式会社
- ・美姿勢・骨格調整トレーナー Minamiさん



【2月レッスン】

・簡単＆時短ポイントメイクを学ぼう

参加者の感想

- ・自分を見つめ返す時間が取れて、改善していくポイントなどを知ることができた。タイムリーな内容だった。悩んでいる事だったので役に立った。
- ・自分のことより子どものことと思っていたが、自分自身を大切にすることによって子どもへの影響や関係が良くなると思いました。
- ・子どもがいても自分のための時間を作ってもいいんだと思うようになった。
- ・新しいことを学ぶのがすごく嬉しい。他人と関わることが少ないのと、どんなことでも色々な人と関わるこの活動はよい。続けてほしい。

(8) 高齢者支援の検討

■つながるスマイルプロジェクトで支援

- ・食支援が必要な高齢者世帯を「つながるスマイルプロジェクト」へつなげ、オンラインで申し込みができる方へは継続してサポートを行った。

■地域包括支援センターとの連携模索

- ・地域包括支援センターからの依頼に応えながら、高齢者支援機関との連携を検討中である。

(9) 支援を求める人へのわかりやすい情報発信

■ホームページの充実

・県内フードバンクとの連携による「つながるスマイルプロジェクト」は毎回「新着情報」に掲載し告知したが、ホームページ上に支援を求める人向けのページを開設するには至らなかった。

■食料支援利用者のためのLINE公式アカウントの活用推進

- ・「つながるスマイルプロジェクト」利用者へは、毎回LINEで配布日程の案内を実施。
- ・「フードバンク未来アカデミー」の「Lachic」の告知と申し込みはLINEで完結、個別のやり取りをスムーズに行うことができた。
- ・アンケート調査において初めてLINEを活用し、多くの利用者から回答を得ることができた。
- ・今後、さらに公式アカウントの効率的な活用を検討する。



LINEでのアンケート調査



LINEによる告知

ホーム フードバンクとは 寄付・活動を応援する 団体概要 協力団体一覧 報道実績 子供の貧困と食のセーフティネット事業 新着情報 English

CONTENTS

- フードバンクとは？
- 活動を応援する
- 団体概要
- 報道実績
- 子どもの貧困と食のセーフティネット事業
- スタッフブログ
- お問い合わせ

ホーム > スタッフブログ > 4月の食品配布◆第27回つながるスマイルプロジェクト◆

◆第27回つながるスマイルプロジェクト◆

対象の世帯へ無料で食品を配布するプロジェクトです。
食品を受け取るには、下記より注意事項を確認いただいた上で
事前登録が必要です。

つながるスマイルプロジェクト
～支援を必要とする方へ無料で食品をお配りします～

※小中学生がいる家庭、高校生がいる家庭は別の支援が対象となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。
※お住まいの地域によって支援が異なる場合がありますのでご了承ください。

ホームページでの呼びかけ



(10)里親・ケアリーバーへの食料支援の継続

支援数 のべ **97** 世帯

山梨県きずな会と連携し対象の世帯へ、年間を通じて延べ97件食料支援を行いました。

基本情報

■山梨県きずな会と連携

里親家庭やケアリーバー（里親のもとを離れて暮らす若者）を対象に2023年より支援を開始。食料支援の申し込みがあった里親家庭にはきずな会が実施している里親サロンにて直接食品を配布。ケアリーバーには宅配で食品を送った。



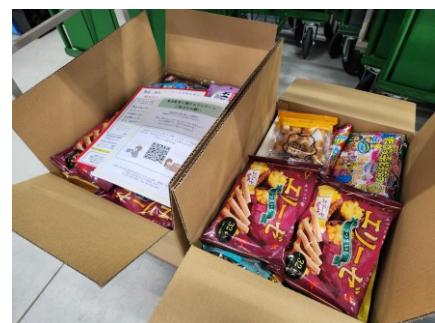
箱詰め作業の様子

■支援頻度・期間

里親への支援は年間7回、ケアリーバーへの支援は年間10回実施

■対象とする世帯

きずな会から情報提供を受け、食料支援を希望している世帯



お米や乾麺、お菓子等を箱詰め

利用世帯数の推移



利用者からの声

食料の支援ありがとうございます。
送っていただいた食材を夕食などで
活用させていただいています。
また、沢山の食料の支援を受けて、
とても助かっています。お米などの
主食になるものや、インスタント麺
などはひとり暮らしをしている私に
はとても助かっています。
本当にありがとうございます。

毎月届く品物をとても楽しみにしています。
色々なものが値上がりして生活が大変な
中、ご支援をくださることがありがたく
感謝の気持ちでいっぱいです。
これからもご支援くださると助かります
し、励みにもなります。自分にできる仕
事を精一杯頑張っていけるよう努めて
きたいと思います。

2. 食品ロス削減と食品管理

新センターでの運用も定着し、効率的な活動をおこなった。

年間取扱量目標400トンを目指し、本年度は昨年度期首在庫81トンを加え、食品取扱量は306トン(77%)となった。

物価高騰の影響を受け食品収集が非常に厳しい状況であった。

次期繰り越し量は45トンとなった。

お米の取扱いについては一般寄付者の寄贈は減少してしまったものの、政府備蓄米交付の申請をおこない、24年分は約2トンの受け入れをし、25年3月から総計50トンの提供を受けることができる。

食品取扱量

306トン

企業・団体、一般市民の方々、スクールフードドライブからの受け入れや、冷凍食品の寄贈等、多くのご協力があった。

食品提供量

260トン

詳細は下記の表のとおり。

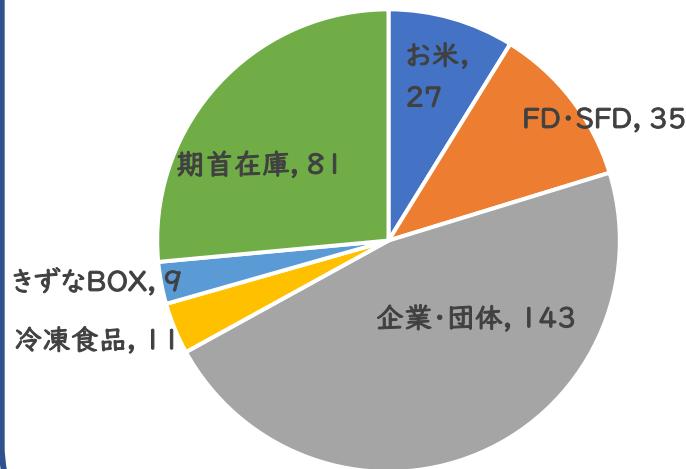


食品入荷時の様子

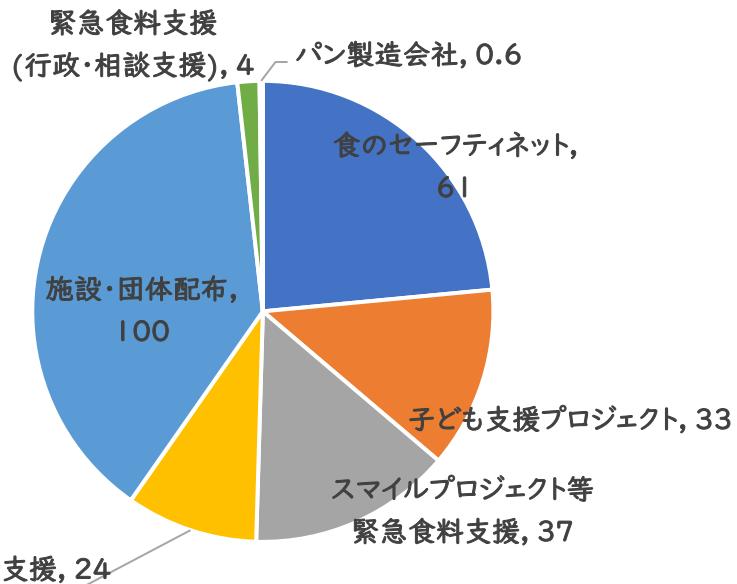


大型10トン車での寄贈(全国協議会を通じて)

食品取扱量306トン



食品提供量260トン



(I) 年間食品受入と提供

①年間受入量

物価高騰の状況の中、一般寄贈者やスクールフードドライブなど多くの方々からの寄贈があった。

企業・団体寄贈は、昨年度より減少したが、全国フードバンク推進協議会とのマッチングを中心に積極的に受け入れた。

一般寄贈者からの寄付(合計約225トン)

フードドライブ 62トン	お米	27トン
	食品	29トン
	日用品	1トン
	スクールフード ドライブ	5トン
きずなBOX 9トン	いちやまマート 13店舗	8トン
	JA南アルプス Aコープ 2店舗	1トン

製造企業・団体からの寄贈

企業・団体からの寄贈	142トン
冷凍食品の寄贈	11トン
パン製造会社からの寄贈	0.7トン

②年間提供量

■様々な対象者層へ食料支援

各支援に対しての利用者が増加し支援にて使用する食品もバラエティーに富んだ食品を支援別の対象に合わせ使用することを心がけた。

センターや県内フードバンクにおける各拠点での手渡しの食品配布も定着し、利用者からの声を聞く機会や交流の時間が増え、スタッフのモチベーション向上へもつながった。



企業フードドライブの受け入れ



スクールフードドライブの受け入れ



フードドライブで寄贈のあった食品



食品箱詰め作業の様子

取り組みごとの配布量(合計約260トン)

食のセーフティネット	61トン
フードバンクこども支援プロジェクト	33トン
高校生支援	24トン
スマイルプロジェクト等緊急食料支援	37トン
緊急食料支援(行政・相談支援)	4トン
施設・団体への配布	100トン
パン製造会社から9施設へ寄贈	0.7トン



食品配布時の様子



バラエティーに富んだ食品の提供

(2) フードドライブの拡充

フードドライブ集荷拠点

📍 市役所・社協・団体

●スクールフードドライブ

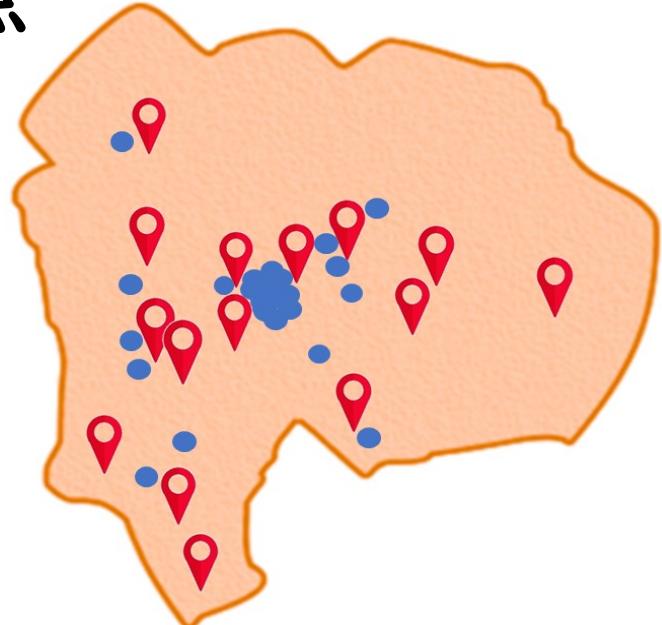
【市役所・社協・団体: 17拠点】

- ◆中央市社会福祉協議会 ◆南アルプス市社会福祉協議会
- ◆笛吹市役所生活援護課 ◆山梨市社会福祉協議会
- ◆都留市社会福祉協議会 ◆上野原市社会福祉協議会
- ◆大月市社会福祉協議会 ◆甲州市社会福祉協議会
- ◆昭和町社会福祉協議会 ◆市川三郷町社会福祉協議会
- ◆富士川町社会福祉協議会 ◆身延町社会福祉協議会
- ◆富士河口湖町社会福祉協議会 ◆山中湖村社会福祉協議会

◆協力団体「ふじざくら」

◆富士の緑とフードサポート

◆ぐんないや-織syoku-



【スクールフードドライブ: 51校・園】

- 白根高等学校 ●巨摩高等学校 ●山梨学院高等学校 ●甲府昭和高等学校 ●韮崎高等学校 ●身延山高等学校 ●北杜市立甲陵中学校
- 高等学校 ●日川高等学校 ●東海大学付属甲府高等学校 ●甲府東高等学校 ●山梨英和中学校・高等学校 ●甲府西高等学校
- 青洲高等学校 ●韮崎工業高等学校 ●駿台甲府高等学校 ●都留高等学校 ●甲府城西高等学校 ●甲府南高等学校 ●山梨高等学校
- 身延高等学校 ●都留興譲館高等学校 ●甲府第一高等学校 ●甲府市立甲府商業高等学校 ●中央高等学校 ●塩山高等学校
- 北杜高等学校 ●農林高等学校 ●韮崎カトリック白百合幼稚園 ●山梨英和中学校・高校生徒会PTA ●大月キリストの教会幼稚園
- ニューライフインターナショナルスクール甲府 ●甲府市立甲府商科専門学校 ●山梨学院短期大学 ●甲斐市立双葉東小学校
- 富士川町立増穂小学校 ●風の子保育園 ●バンビバイリンクル幼稚園 ●笛吹市立春日居中学校 ●甲斐市立竜王中学校
- 富士川町立鰍沢中学校 ●南アルプス市立白根御勅使中学校 ●南アルプス子どもの村小中学校 ●山梨県立甲府支援学校
- あけぼの支援学校 ●山梨県立かえで支援学校 ●山梨県立盲学校 ●山梨大学付属教育学部特別支援学校 ●山梨県立ろう学校
- 山梨県立高等支援学校桃花台学園 ●わかば支援学校 ●山梨英和大学 ボランティアサークルThe Peace Fellows

フードドライブの取り組みを推進

■年2回のフードドライブ強化月間の実施

例年に比べ支援に対しての食品在庫量が不足していたため、夏の強化月間は2ヵ月間の食品寄贈の呼びかけを行った。

全国放送のメディア取材もあり、多くの企業・団体のフードドライブ参加があった。

冬のスタートイベントでは県内高校の5校から生徒が集まり、フードドライブへの想いや宣言をおこなった。

PTAや生徒が主体となって行うスクールフードドライブでは、年間を通し51校・園の参加があり、延べ91回の食品寄贈があった。



フードドライブ参加宣言時の様子



強化月間開始イベントの様子

お寺へのフードドライブ参加の呼びかけ

新たなフードドライブ参加団体として、県内のお寺へのフードドライブ参加を呼びかけた。企業同様、チラシやポスター等を発送した。

県外寄付者への協力呼びかけ

24年度は県外の個人寄付者への呼びかけは行わなかったが、フードドライブに参加して下さった県外企業への参加呼びかけをチラシ発送するなどして行い、フードドライブ参加を呼びかけた。また、フードドライブのみならず防災品等の寄付も多くあった。

行政機関へのフードドライブ拠点設置の呼びかけ

冬のフードドライブ強化月間では、引き続き各市町村の行政機関が拠点となりフードドライブ参加をしてくださった。(14拠点)



寺庭婦人会からのフードドライブ食品寄贈



県外企業からの防災品受入の様子

(3) その他の受入

①きずなBOX

JA南アルプスAコープ・株式会社いちやまマート2社15店舗での設置を継続し、約9トンの寄贈があった。バラエティーに富んだ食品が寄贈されるため非常に重量な寄贈元となっている。

②パンの寄贈

製パン会社から継続的に9施設へ0.7トンの寄贈があった。
毎月の寄贈量が減少したものの、受け取りをしている施設・団体からは非常にニーズがあるとの声を受けている。

③日用雑貨

日用品は、主に直接配布・シングルマザー支援施設・団体などへ配布をした。

日用品を取り扱う企業からは、化粧品や文房具、こども向けのぬいぐるみなど様々な日用品の寄贈があった。
一般寄贈者からは、洗濯洗剤や文房具の寄贈が多くかった。

④政府備蓄米の使用

農林水産省よりフードバンク、こども宅食へ向けた備蓄米の交付があり、当法人からも申請を行い政府備蓄米の提供を受けた。24年分は約2トンの受け入れをし、25年3月から総計50トンの提供を受けることができる。



きずなBOXの回収



寄贈のあった日用品(化粧品)



備蓄米を使用しての米小分け作業



新たな継続寄贈の開始

(5) 山梨フードバンクセンターにおける効率的な食品管理と運用の実現

① 食品の品質維持と衛生管理

農林水産省「フードバンク活動における食品の取り扱い等に関する手引き」を管理基準とし、内容に沿った管理に務めた。
また3月より消費者庁が定めた「食品寄附ガイドライン」に変更された。
農林水産省の手引きを元に、独自の衛生管理表を作成し倉庫内の衛生管理点検に努めた。



新たな米計測機の導入

② センターでの倉庫管理

■ 新たな米測量機の導入

米の測量作業のさらなる効率化のため新たに米測量機を購入し、米の計量・仕分け作業の効率化をはかった。

■ 新たな冷凍庫の導入

24年度は冷凍食品の取扱いも増え、一台の冷凍庫では受入量が限られてしまったため、新たな冷凍庫を導入しより多くの冷凍品を受け入れた。

■ 受付システムの定着化

これまでフードドライブの受け入れ記録はすべて手書きからの手入力であったが、受付システムの導入から寄付者の方が自身でデータ入力が行えるよう定着化に努めた。

今後、更なる倉庫管理におけるIT化を検討していきたい。

■ 先進的食品企業への視察

24年度は食品企業への視察は実施できなかったが、25年度に向け継続課題として検討していく。

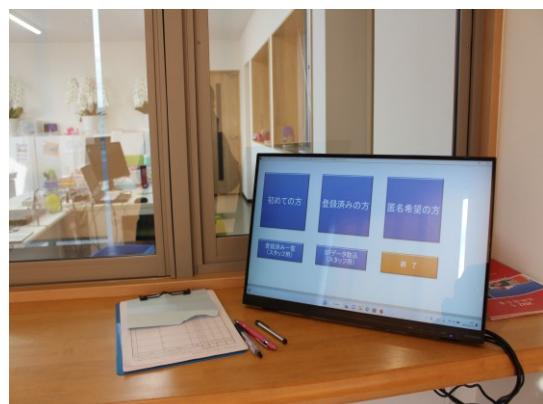
③ 整理整頓と清掃の維持

スタッフやボランティアが行き来する場所を中心毎日の清掃を継続した。

- ・作業終了後のほうきかけ。
- ・フォークリフトの清掃・法人車の洗車
- ・精米機使用後の作業場の清掃 等
- ・冷凍庫内の清掃



新たな冷凍庫の導入



受付システムの定着



冷凍庫内の清掃

今年度は物価高騰の影響での大口寄贈減少の影響もあり一斉配布の回数が減少した。特にどの施設・団体もお米のニーズが高い印象があったが、提供可能な範囲での対応となった。

■施設・団体向け一斉配布の実施(年1回実施)
確約書締結施設・団体に対し、大口寄贈のあった食品を、グーグル・スプレットシートを使用してニーズ調査を行い、希望する施設・団体へ配布をおこなった。

■施設・団体からの要望に対応
特に、毎月パントリーを実施している団体や子ども食堂の実施を行う団体に対し各月連絡を受け提供可能な食品や日用品を提供した。

■施設・団体ごとのニーズに合わせた支援
パントリー団体、子ども食堂からは、簡単に調理可能なカップ麺やレトルト、飲料、お菓子などが特にニーズが高く、提供可能な範囲での対応に努めた。



食品提供時の様子



施設・団体が直接工場へ定期的に引き取り

(7) 冷凍・冷蔵食品取り扱いの確立

休眠預金助成金を活用した冷凍食品配送コールドチェーン体制の構築

「公益社団フードバンクかながわ」が幹事団体となり公募した休眠預金事業（目的：寄贈冷凍食品の配送コールドチェーン構築）に当法人が応募し、令和6年5月に採択されたため、同年6月1日から令和7年2月末にかけて次の事業を実施した。（1都4県（神奈川、埼玉、群馬、山梨）のフードバンク団体が参加）

① 資機材の購入、設置（冷凍食品の運搬、保管、配送関係）



冷凍トラック（1.7t、中古車）



冷凍庫（1.5坪）



冷凍ストッカー（200～560L）
(自家用+県内FB・6団体にも貸与)



保冷ボックス（90L×48箱）
(当法人⇒各団体の輸送時に使用)

② 冷凍食品の引き取り

神奈川県（川崎市内、横浜市内、等）の以下の場所に当法人が冷凍トラックを運転して出向き、毎回約1トン前後の冷凍食品（大手冷凍食品会社からの寄贈（新品））を受領した。

- ・マルハニチロ（株）物流・川崎物流センター（川崎市東扇島）
- ・隅田冷凍（株）東扇島事務所（川崎市東扇島）
- ・フードバンクかながわ（本部倉庫、横浜市金沢区）など

（引取り日） 2024年5月10日、6月20日、8月6日、9月12日、10月17日、10月31日、11月28日
2025年1月16日、2月13日、2月26日、3月13日、3月27日（計・12回）
※今後も、ほぼ毎月1回のペースで引き取りに行く予定

（総受領量） 7,632kg

③ 冷凍食品の配布

（1）つながるスマイルプロジェクト（県内十数カ所のFB拠点で食品を配布、対象：住民税非課税世帯、等）

当法人・倉庫と県内フードバンク（14団体：R7年3月時点）で、以下の月に常温保存食品と共に1世帯当たり約2～3kgの冷凍食品を配布した。（※申込者に保冷Bagかクーラーボックスの持参を要請）
（実施した月） 2024年6月（当法人のみ）、9月（当法人のみ）、10月、11月、12月、2025年3月

（2）こども支援プロジェクト（「子どもの貧困対策連携協定」を締結した13市町村の就学援助世帯に通知）

2024年8月：支援世帯の一部（住民税非課税世帯：102世帯）にクール宅急便で冷凍食品を配送
2025年1月：前年12月の食品配達時に同封したアンケートに回答した489世帯に冷凍食品を配送

（3）高校生支援プロジェクト（対象：高校生のいる住民税非課税世帯、等）

2024年9月：155世帯にクール宅急便で冷凍食品を配送

（4）登録団体への配布

当法人の登録団体（県内フードバンク、社会福祉法人、外国人支援団体、等々）に、上記の取組で余剰が出た際に配布した。

【冷凍食品を受け取った当事者からの感想の例】

- ・冷凍食品は保存も効くので、大変ありがとうございます。
- ・高校男子の食欲、恐るべしです。冷凍食品を頂けたら、とっても嬉しいです。
必ず、受け取りに行きます。



（クール宅急便による冷凍食品配布事例（1世帯分））

3. 寄付活動・広報

(1) 活動への寄付の呼びかけ（個人・企業・遺贈）

活動への寄付は、止まらない物価高騰でさらに増加した生活に困窮する方たちの支援を呼びかけ、多くの賛同を得て目標を達成することができました。

① 個人からの寄付

- ・引き続き広報、HP、ダイレクトメール、電話掛けを利用して活動を理解いただき、ご寄付を呼びかけました。
- ・寄付者へのダイレクトメールの送付を年二回実施し、報告書やアンケート調査結果を送付することで、企画へのご支援を呼びかけました。
- ・ダイレクトメールに振替用紙を同封し、寄付チラシへのQRコード掲載をして、寄付をしやすい環境づくりを行いました。
- ・「フードバンクとぼく」の出版にはクラウドファンディングを行い、寄付を募りました。
- ・クレジットカード、ギブワンやReadyforの継続寄付サイトを利用した寄付者へ、HPやアプリ上で報告やお礼を行いました。

② 法人からの寄付

- ・9月には集中して県内の企業へお手紙を送り、新たに特別法人会員を募りました。7企業・団体が新たに特別法人会員に登録くださいました。
- ・支援をいただいている法人へは、代表者あてには直接継続支援のお願いとお礼や活動報告をしました。

③ 遺贈寄付

- ・遺贈寄付のしくみについて学び、情報収集と今後の進め方について検討しました。
- ・以前から登録していたReadyforの遺贈寄付システムの利用をHPでお知らせしました。
- ・既存の寄付者様からの遺贈ご寄付がありました。

1日の食費
わずか
139円
2023年9月～2023年1月
フードバンク山梨の支度をかける
子どもで暮らすため
アーネスト財團より

止まらない物価上昇
働いても厳しい暮らし

私たちが支援する方々は、社会から、まるで取り残されたかのような孤独感を抱いて生活
私たちにはこうした力の声をかけ止め、広く発信することで、一人でも多くの方に理解を
深めていただきたいと考えています。

ご寄付のお願い 私たちの活動は皆さまからのご寄付に支えられています

QRコードで
【山梨中央銀行】
口座名義：山梨中央銀行山梨支店
振込先：明治文庫（山梨） 258
口座番号：（番組） 671338

認定NPO法人 フードバンク山梨
〒400-0023 山梨県笛吹市アルプス市街地1003-1
Tel: 055-298-4844
E-mail: info@byanana.com
https://byanana.famarche.net

【ゆうちょ銀行】
払込用紙
支店名：山梨中央銀行山梨支店
振込先：明治文庫（山梨） 258
口座番号：（番組） 671338

認定NPO法人 フードバンク山梨
〒400-0023 山梨県笛吹市アルプス市街地1003-1
Tel: 055-298-4844
E-mail: info@byanana.com
https://byanana.famarche.net

認定NPO法人 フードバンク山梨
〒400-0023 山梨県笛吹市アルプス市街地1003-1 Tel: 055-298-4844 E-mail: info@byanana.com

あなたの寄付で
子どもたちに
特別な一日を

年中無休のない冬休み
子どものいる家庭を
食で応援!

子どもたちへの
食品の
宅配料

手作りケーキ
セット 購入費用

およそ1万円分
約120kgの食品を購入します

家族でデコレーションを楽しめる
手作りケーキとクリスマスの
セットをプレゼント

約2,000人の
子どもたちの
支援に
200万円が
必要です

フードバンク山梨は「認定NPO法人」です
寄付いただくと「寄付金控除」など税制上の優遇措置が受けられます

フードバンク山梨は2008年から、生活が苦しい状況にある多くの直接支援
を実施しています。2023年度は約10,000組を支援しました。

クレジットカードで
【山梨中央銀行】
口座名義：山梨中央銀行山梨支店
振込先：明治文庫（山梨） 258
口座番号：（番組） 671338

認定NPO法人 フードバンク山梨
〒400-0023 山梨県笛吹市アルプス市街地1003-1 Tel: 055-298-4844 E-mail: info@byanana.com

2025年3月
誰もがしあわせに
暮らす様子ように

この度は温かいご寄付を頂戴し、心より感謝申し上げます。
3月も皆さまのご支援により、困窮世帯への食料支援を行っています。
未来を担う子どもたちの食卓が危機に直面しています。
当法人が2024年冬、支援世帯に実施したアンケート調査で、食費にかかるお金が『ひとり1日あたり417円（中央値）』、一食あたりでは139円と極端に低水準であるという結果が出ました。総務省の家計調査（2023年）結果の『一日あたり853円』と比較すると半分以下となつており、多くの母さんが「子どもの食事の内容は不十分で、子どもの成長に悪影響を及ぼしている」と感じています。
また、昨年に比べ所得は「変わらない」「減っている」と答えた人は85%にのぼり、これ以上食費にお金をかけられないのが現実です。
引き続き皆様と共に活動を推進してまいります。

当法人は認定NPO法人ですので、寄付控除を受ける事ができます。
確定申告時に寄付金または賛助会員費の領収書を添付して申告してください。領収書は大切に保管してください。

認定NPO法人 フードバンク山梨



協賛企業・団体一覧

※2024年1月～2025年4月（順不同）

小林製薬株式会社 東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社 株式会社タンザワ
ツルヤ化成工業株式会社 宗教法人生長の家 株式会社ネオシステム 株式会社シンク
株式会社内藤製作所 医療法人優心会 竜王レディースクリニック 株式会社福島運輸
株式会社エム・シー・エス 株式会社はくばく 株式会社テレビ山梨 生活協同組合ユーヨープ
旭陽電気株式会社 生活協同組合ユーヨープ やまなし県本部 清水内科クリニック
株式会社山梨中央銀行 株式会社シャトレーゼ 株式会社オーテックメカニカル
ファスフォードテクノロジ株式会社 なかえこどもクリニック 医療法人田辺産婦人科
株式会社クロスフォー 生活協同組合パルシステム山梨 長野 株式会社藤石材 株式会社オーク
株式会社サンポー 富士急行株式会社 株式会社ササキ 有限会社南口運輸倉庫
株式会社新和運輸 株式会社エヌディエス フォネットグループ 有限会社峡西シーエーテーブイ
有限会社保泉商事 山梨日野自動車株式会社 株式会社Toshin 株式会社サニカ
山梨ダイハツ販売株式会社 株式会社甲府大一実業 オプトホーム株式会社 有限会社ペリー商事
株式会社パルライン 有限会社ジーエヌコーポレーション 有限会社總合電化小林
住友生命保険相互会社 山梨支社 有限会社山梨検査センター テクト株式会社
パルシステム生活協同組合連合会 パルシステム共済生活協同組合連合会 株式会社マイコー
浄土真宗本願寺派大正寺 昭和南耳鼻咽喉科クリニック 株式会社システムインナカゴミ
昭和総合警備保障株式会社 オギノ食糧株式会社 ヒロセ電気株式会社 山梨スズキ販売株式会社
共信冷熱株式会社 株式会社OZK 株式会社サンワライフ保険 株式会社FUJISEY 株式会社光・彩
住友林業株式会社 住宅建築事業本部 甲府支店 富岳通運株式会社 甲府向町こころのクリニック
株式会社エノモト コミヤマエレクトロン株式会社 医療法人快療会 くつま整形外科医院
医療法人久悠会 津久井胃腸科医院 医療法人碧山会 甲府昭和婦人クリニック 株式会社 M's gift
株式会社クスリのサンロード 合同会社大木電機 小澤こころのクリニック 土屋眼科医院
一般社団法人 山梨県損害保険代理業協会 ヤマリン有限会社 株式会社トリケミカル研究所
ジブラルタ生命保険株式会社 甲府支社 株式会社Futur 株式会社オギノ 向山会計事務所
有限会社塚原製作所 有限会社東設備 株式会社尾澤工業 株式会社中部 株式会社幸栄企画
株式会社三菱UFJ銀行 ヴィジョナリーパワー株式会社 甲府市内科医会 武藤株式会社
医療法人大塚内科小児科医院 株式会社ダイヤモンド酒造 株式会社大奉農舎 お百度参る
hazime.net合同会社 G.Iホールディングス株式会社 生長の家 山梨教区有志一同
一般社団法人テスラオーナーズクラブジャパン ボランティアグループ孝進会 株式会社BWI
ダイドードリンコ株式会社 株式会社大南設備 株式会社エス・アイ・エンジニアリング
滝田建材株式会社 有限会社サイコージェムズ 株式会社飯塚工業 菱岡工業株式会社

計110社・団体

皆様のご支援に心より感謝申し上げます

(2) 当法人制作図書「フードバンクとぼく」の全国図書館等への寄贈

- ・フードバンク活動の啓蒙につながる書籍をクラウドファンディングで8300冊制作。
- ・全国の公立図書館へ3,285冊、全国の高校へ4,904冊発送した。
- ・あわせて簡易製本版を制作し、「ナツボラ」に参加した高校生へ進呈。希望の高校へも配布し、活動への理解を広げられるように種まきをしている。



公立図書館で貸し出中



高校と公立の図書館からのお礼の手紙

(3) 広報活動による認知度向上

■積極的なニュースリリースと記者発表

- ・テレビ・ラジオで延べ 30 回、新聞・ウェブニュースで延べ 44 回の報道
- ・記者発表を3回実施。



5月12日「フードバンク未来アカデミー」スタート



9月17日「シングルマザー支援ニーズ調査結果」



2月27日「物価高騰の影響を受ける子育て世帯アンケート調査結果」

■ホームページやSNSの活用

- ・ホームページのトップページの入れ替えをタイムリーに行い、情報発信の効果を高めた。
- ・SNSを活用し、日常の取り組みの発信を行った。
- ・新たな取り組みについて検討した。

テレビ・ラジオ

日付	放送局	内 容
2024/04/02	YBS	「フードバンクとぼく」クラウドファンディング
2024/04/30	NHK 甲府／YBS	食品寄付 強化月間前倒しで呼びかけへ
2024/04/30	UTY	食品寄付2割減 物価高が食料支援に影
2024/05/02	FM FUJI	バンピー フードドライブについて
2024/05/06	YBS ラジオ	フードドライブ強化月間
2024/05/09	NHK 甲府	フードドライブ強化月間実施中
2024/05/12	UTY	FMA 食料支援を受ける子どもたち対象に学習支援
2024/05/12	NHK 甲府	FMA 学習キャリアの面でも支援強化へ
2024/05/14	フジテレビ	めざまし8 物価高で寄付減少 フードバンクが食料不足
2024/05/15	テレビ朝日	報道ステーション 円安・物価高直撃 FB 食料がない
2024/05/17	NHK 甲府／YBS	石田ひかりさん フードバンク山梨訪問
2024/06/13	UTY	幼稚園児が育てたたまねぎ フードバンクに寄付
2024/07/04	NHK 甲府	冷凍食品支援 5都県のフードバンク連携
2024/07/09	YBS／NHK 甲府	冷凍食品の提供開始 ニーズや課題を探る
2024/08/01	UTY	ナツボラ 高校生がフードバンクのボランティア
2024/09/19	UTY	ぎりぎりの生活 シングルマザー8割手取り15万円未満
2024/09/22	YBS	アンケート調査 シングルマザー月収15万円未満77%
2024/10/01	NHK 甲府	シングルマザー対象調査 8割ちかくが非正規雇用
2024/10/16	NHK 甲府	世界食糧デー 食料支援へ寄付を受け付け
2024/10/17	UTY	高校生食料支援をよびかけ
2024/11/26	NHK 甲府	年末を前にフードバンクに食品寄付
2024/12/09	YBS	倉庫ガラガラ 物価高騰で寄付が例年の8割に低迷
2024/12/18	NHK 甲府	子育て世帯に無償で食品提供 NPO が発送作業
2024/12/25	NHK 甲府	かいどき「いいじやん！見つけた」フードバンクについて
2025/02/18	FM FUJI	アクタス バレンタインアクション2025
2025/02/27	UTY／YBS	アンケート結果 物価高騰影響深刻 一人食費417円

*他、2件の企業・団体からの食品・寄付金寄贈について報道されました。



新聞・デジタル報道

日付	掲載紙	内容
2024/04/01	山梨日日新聞	子どもの貧困書籍にフードバンク理事長執筆
2024/05/02	読売新聞	フードバンク食料不足
2024/05/08	山梨日日新聞	物価高騰で寄付減少 フードライブ強化月間前倒し
2024/05/12	山梨日日新聞 web 版	「フードバンク未来アカデミー」開校
2024/05/14	山梨日日新聞	困窮世帯に学びの場 親子を一体支援
2024/05/25	読売新聞	困窮世帯の子 学習支援
2024/06/12	山梨日日新聞	甲府商専 学生が余剰食品回収
2024/06/14	山梨日日新聞	園児が育てたたまねぎ贈る 大月の幼稚園
2024/06/14	産経新聞	一日の食事代300円未満が3割
2024/07/04	PRTimes	物価高騰に苦しむ世帯へコールドチェーン構築
2024/07/23	山梨日日新聞	学習環境向上へ 文具寄付 ユーコープ
2024/07/27	山梨日日新聞	夏休み 出費増 やりくりに苦慮
2024/08/02	山梨日日新聞／読売	QB 高校生有志ら支援箱詰め ボランティア 50 組
2024/08/06	山梨日日新聞	ろう学校でフードドライブ
2024/08/20	PRTimes／毎日／BIGLOBE ニュース	物価高騰が子どもたちを脅かす夏 フードバンク山梨約 900 世帯に食料支援
2024/09/18	山梨日日新聞	母子世帯非正規8割 月 15万円未満が大半
2024/09/23	山梨日日新聞 web 版	シングルマザーの困窮、実態は？
2024/10/10	PRTimes／毎日／富士山経済新聞／BIGLOBE ニュース	世界食糧デー & 食品ロス削減月間 食品不足に高校生が立ち向かう「スクールフードドライブ 甲子園」を開催します
2024/10/17	山梨日日新聞	フードドライブ 高校生が応援宣言
2024/12/23	山梨日日新聞	シングルマザー キャリアを支援 企業と連携した講座
2024/12/27	NHK 甲府 NEWS WEB	食品無償提供 昨年度比2割増も食品寄付は7割に
2025/01/08	山梨日日新聞	バナナの廃棄削減 加工品売上寄付 北杜高校

* 他、15件の企業・団体からの食品・寄付金寄贈の記事が掲載されました。

(4) 講演会・視察受け入れ

- ・講演や視察の依頼に応えた。
- ・高校で講演会を実施して「フードバンクとぼく」の簡易製本版を配布することを計画、呼びかけを行った。

【講演・パネリスト】

日付	団体名
2024/07/02	山梨英和大学
2024/10/10	山梨学院短期大学
2024/11/06	笛吹ロータリークラブ
2024/11/27	フードバンク鳥取
2025/02/06	北杜ライオンズクラブ
2025/02/18	山梨県中小企業家同友会
2025/02/26	山梨総研フォーラム

【視察・研修受け入れ】

日付	団体名
2024/07/22	NPO法人セカンドリーグ神奈川
2024/07/29	NPO法人ジョイコム
2024/10/29	山梨県職員研修
2024/11/06	南アルプスこどもの村中学校
2024/11/13	市川三郷町みんなのひろば
2025/01/27	都留市社会福祉協議会
2025/01/29	東海3県のフードバンク団体



4. ボランティア参加の促進

のべ1,567人がボランティアに参加。大きな推進力に。

■継続的な関わりが支える支援活動

- ・毎週・定曜日の作業に長年参加してくださる方々に支援活動は支えられている。
- ・新しくボランティア作業に加わる方にも親切にレクチャーいただいており、ボランティアの増加や定着につながっている。



■企業・団体の参加が増加

- ・社会貢献活動の一環として、ボランティア休暇等を利用した支援活動への社員参加を促進する企業が増加。
- ・職場でのフードドライブへの協力も浸透。
- ・団体からのボランティア申し込みや問い合わせも増加、平日の作業を支えていただいている。

(1) 夏休みに高校生へボランティアを呼びかける「ナツボラ」の実施

■2年目の「ナツボラ」

- ・今夏も「こども支援プロジェクト」の準備・発送作業への参加を夏休みの高校生に呼びかける「ナツボラ（夏休みボランティア）」を企画。
- ・15日間にのべ206名が参加。
- ・初日は山梨クインビーズの選手・コーチもボランティアに参加。
- ・期間を通じて想いの込められた食品の箱が仕上がった。



山梨クインビーズのみなさん

(2) 冬のこども支援発送作業に 「フードバンク サンタWeek」を企画

■「サンタになりませんか」と企業に呼びかけ

- ・約900世帯に5日間かけて発送作業を行う冬のフードバンクこども支援プロジェクトでは、冬休み前で学生ボランティアが難しいため、社会貢献ボランティアとして企業から社員を派遣していただく「フードバンク サンタWeek」を企画。
- ・急な依頼にもかかわらず、多くの企業が応えていただき、平日の5日間にのべ71名が参加してくれた。



5. 組織運営強化

(1) 職員が働きやすい環境づくりと待遇改善

■賃金体系の見直しを実施

職員賃金のベースアップ実現

要件を満たした職員への「住宅手当」支給開始

助成金の活用



(2) 人材育成の取り組み

■オンライン研修への積極的参加促進

必要とされる研修は積極的に受講

外部への視察研修 3件

■職員全体会議の開催

各活動の情報共有とあり方の協議のため、1ヶ月に1回開催

(3) 理事会運営の充実

■オンライン出席の準備と事前資料の送付

参加しやすい体制による出席率の向上



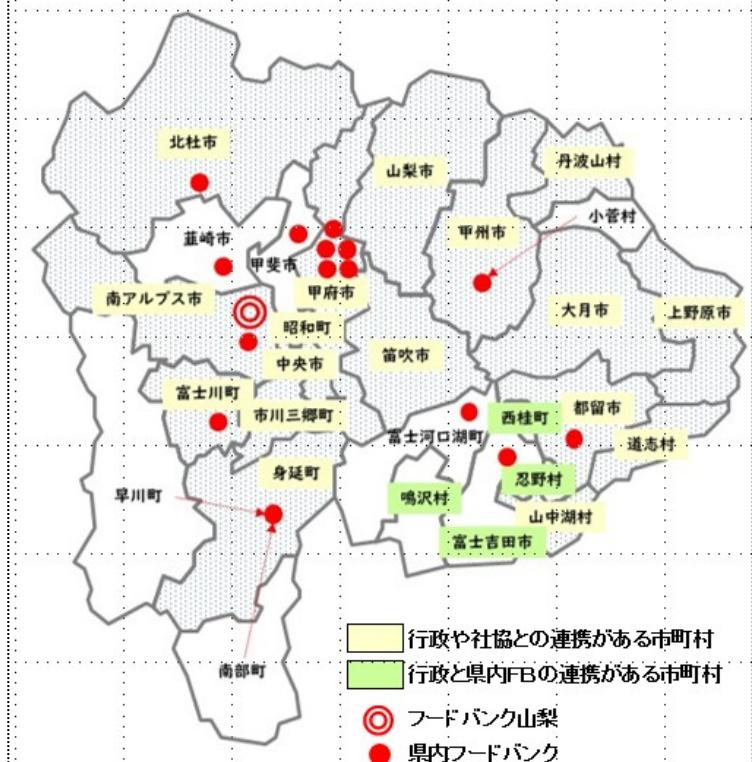
6. 中核的フードバンク(FB)としての活動推進

年間を通じて、のべ2,025世帯が県内各地の配布会場で支援品を受け取りました。

県内フードバンクの積極的設立とノウハウ支援

設立数 14 団体 1 企業

行政との連携や民間の拠点があるエリア



山梨県内FB団体・協力企業一覧

- ① 協力団体ふじざくら (富士河口湖町)
- ② 社会福祉法人・山梨立正光生園 (甲府市)
- ③ 莩崎だんぼらの会 (菩崎市)
- ④ NPO法人・高齢社会を克服する会 (甲府市)
- ⑤ ファミリーホーム「かいふじホーム」 (南アルプス市)
- ⑥ NPO法人・こどもサポートやまなし (甲府市)
- ⑦ NPO法人・ぐんないや-織syoku- (都留市)
- ⑧ よりそい北杜 (北杜市)
- ⑨ 社会福祉法人・忠恕会 (甲府市)
- ⑩ 社会福祉法人・ぎんが福祉会 (甲斐市)
- ⑪ 認定NPO法人・富士の緑とフードサポート (富士吉田市)
- ⑫ 株式会社シャトレーゼ (身延町)
- ⑬ 更生保護法人・以徳会 (甲府市)
- ⑭ まちの保健室・わくわくカフェ (富士川町)
- ⑮ 社会福祉法人・ぶどうの里 (甲州市)

2024年度のトピック

独立行政法人・福祉医療機構「社会福祉振興助成事業」(令和5年度補正予算)に採択された。
(事業名)「県下各地のフードバンクとの連携による県内全域での食料支援推進事業」

(1)事業実施期間 2024年度(通年)

(2)事業概要

- ①県下全域での地域フードバンク設立、及び運営ノウハウ支援
- ②地域フードバンクとの連携による食料支援活動に要する経費の一部を当該団体に支給

(3)実施概要

- ①新たに3団体の地域フードバンク設立を支援

更生保護法人・以徳会(甲府市)、まちの保健室・わくわくカフェ(富士川町)

社会福祉法人・ぶどうの里(甲州市)

- ②「つながるスマイルプロジェクト」による県内15カ所での食品配布(延べ10回)

年間の配布回数を2023年度の延べ6回から10回に増やすとともに、9月からは冷凍食品の配布も開始

※当助成事業を活用して、各フードバンク団体には、当法人までの食品引き取りや(配布世帯毎の)仕分け、

配布等に係る役務費(支援した1世帯当たり500円)及び交通費(自動車燃料代)を支給。

※県内フードバンク団体の大半は自主財源が少ないこともあり、当法人がこれらの経費を支払うことにより、

団体の経済的負担が軽減され、当法人と各団体との協働事業を一層円滑に行えるようになった。

(当助成事業の終了後も、県内フードバンクへの経費支援を継続の予定)

- ③県内の地域フードバンクの運営ノウハウ支援(訪問、面接による支援、研修会実施、等)

- ④事業実施報告書の作成(県内行政機関、県内フードバンク、全国の主なフードバンク団体等に配布)



7. 自治体への提案・アンケート調査

(1)自治体への提案

■子どもの貧困対策連携協定の提案

- ・フードバンクこども支援プロジェクトを全県で実施することをめざし、まだつながっていない自治体へ連携を提案し、連携協定締結の働きかけを行った。
- ・2025年度には、新たに県内4自治体と連携する予定となった。

■災害協定の検討

- ・フードバンクが地域の食糧庫として災害発生時に果たせる役割があることから、自治体との協定を構想したが、提案までには至らなかった。

(2)アンケート調査

■2024年9月 シングルマザー 支援ニーズ調査 報告書

「融通利く職場で助かるが、最低賃金のパート勤め」 月収15万円未満・先を考える余裕なし ～非正規シングルマザー、行き詰まる生活～

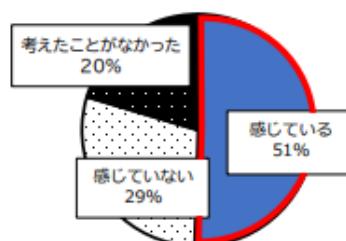
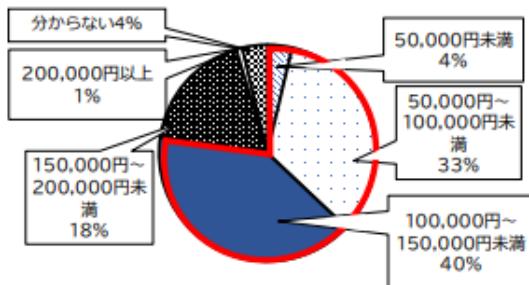
フードバンク山梨は今年6月21日～7月16日、当法人が食料支援を行うシングルマザーにアンケート調査を実施しました。対象となる446世帯中242世帯が回答（回答率54.2%）したアンケート結果をご報告します。この結果は「フードバンク未来アカデミー」での支援に生かします。

SUMMARY 低賃金で長時間労働。家事育児すべて抱え、経済的・精神的・肉体的に「ぎりぎり」。
それでも仕事は「やりがい」。
働くシングルマザーが当たり前に生活・子育てできる社会に

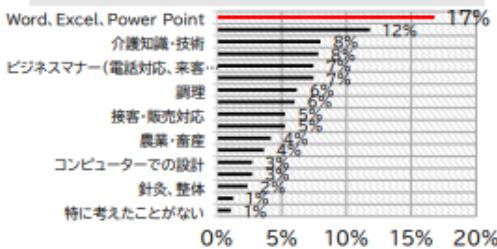
- 子どもの数は「2人」が42%。「3人以上」も25%
- 「非正規」82%・「週5日勤務」74%・「8時間労働」32%。「月手取り15万円未満」77%
- 子どものために休める一方、生活の保障はない
- 技能だけでなく、心理的サポートを含む支援が求められる

給与の平均手取り額「150,000円未満」が
全体の77%

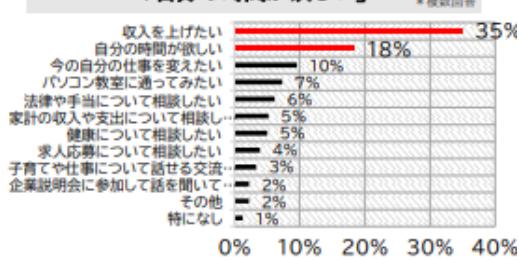
「今の仕事にやりがいを感じている」が
51%と最多



「身につけたいスキル」として PCスキルへの関心



「収入を上げたい」に次いで 「自分の時間が欲しい」



■2025年2月

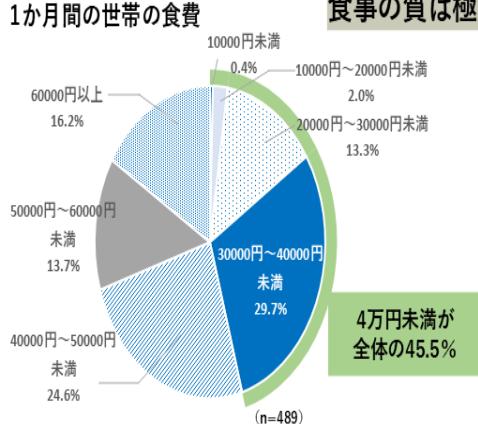
フードバンクの支援を受ける 子育て世帯への アンケート調査報告書

子どもたちの 未来が危機に

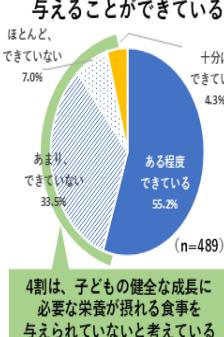
子育て世帯への アンケート調査より

調査の目的
物価高騰下の生活状況を調査し、今後の支援にいかず
調査対象
当法人が2024年12月16日～20日に行った「フードバンクこども支援プロジェクト」利用891世帯・「高校生支援」利用157世帯
調査方法と回収状況
販促用に同封したチラシのバーコードよりwebで回答
調査期間 2024年12月17日～2025年1月5日
回収状況 対象世帯数1048／回収数489／回収率46.7%

1か月間の世帯の食費



子どもに栄養バランスの取れた食事を与えることができているか



食事の質は極端な低水準。子どもの成長や健康にリスク

1日1人あたり417円
1食あたり139円

本調査の全体の中央値		
ひと月 あたり	1日 あたり	1食 あたり
12,500	417	139
(円)		

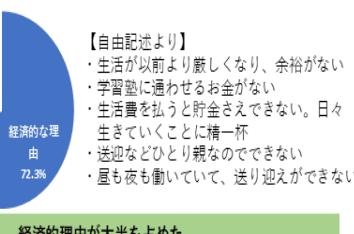
1日1人あたり食費は
全国データの半額以下

総務省「家計調査」の「食費」（2023年）				
世帯 人数	2	3	4	5
1日1人 当たり	1,207	951	756	679
(円)				

令和6年度、甲府市の1食あたりの給食費は小学校で265円、中学校で330円。本調査の対象世帯は深刻な状況にあることがわかりました。
*本調査の「ひと月あたりの食費」の中央値から1日当たりの食費を算出（30日分）。さらに本調査の「世帯当たり人頭数」の平均値（3.5人）で割り、1人1日あたりの食費を求めます。ここから1人1日あたり「139円」となります。

本調査の世帯当たり人頭数の平均値（3.5人）に対応する世帯人頭数「3（人）」「4（人）」の平均1日1人あたり食費は「853」。比較すると当調査の1日1人あたり食費「417円」は家計調査の半額以下となりました。

拡大し続ける子どもの「体験格差」



【自由記述より】

- ・生活が以前より厳しくなり、余裕がない
- ・学習塾に通わせるお金がない
- ・生活費を払うと貯金さえできない。日々生きていくことに精一杯
- ・送迎などひとり親なのでできない
- ・屋も夜も働いていて、送り迎えができない

「広く訴えて」
寄せられた
多数の声

安心して暮らせるようになるために
希望する制度や支援内容

【自由記述より（原文ママ）】

頑張って働いても税金で引かれてしまう。非課税ではなくなり、今までからなかった制度の利用料がかかり、逆に苦しくなっている。103万円の壁よりひとり親の控除額にも目を向けて改善してほしい。国の給付金の対象からも外れ、本当に苦しい

ひとり親手当の所得制限の撤廃。1人で子供の為に仕事を頑張ってるのに、所得によって手当でが増減するのは不公平。頑張っても手当でが減るんだや頑張る意味がないです

児童手当は多子世帯に手厚くだけではなく1人目2人目こそもっと手厚く支援対応してほしいと思います

貸与型でも、借りやすく余裕を持って返済できる奨学生が増えると助かる

塾代助成など、教育費が無料になるといい

習い事等の減額措置や光熱費、ガソリン減額措置などあれば有り難い

病気の時ほど、ショートステイみたいなのが有難いです

子ども食堂は近年あちらこちらでやっていただけます
が、食べ盛りの中高生が学校帰りなどに腹ごしらえ出来る
支援があったら有難いです

障がい者に対する制度は整っていますが、不登校の子に対する将来的な支援があつたら心強いです

ひとり親世帯に変わり無いけど、色々事情があり籍が入っているものの、ひとり親としての制度や手当が受けられないグレーゾーンの世帯に対しての何かしら制度があつたらと思う

テーマパークなどの助成クーポン

休日に子供を数時間でも預けられるサービス

オムツの支援やミルクの支援が欲しい

日常生活の話を聞いてくれる場

ひとり親や貧困家庭に安い家賃で空き家を貯すような支援があつたら嬉しい



■2025年3月

「第26回つながるスマイルプロジェクト」アンケート調査

1 調査の目的

物価高騰が続く中で、当法人が支援している生活困窮世帯の生活状況を調査し、今後の支援に活かす。

2 調査について

①調査対象

当法人が2025年3月に県内13のフードバンク団体と連携して行った「第26回つながるスマイルプロジェクト」で支援を受けた196世帯

(同プロジェクトの対象者⇒以下のいずれか)

住民税非課税世帯（世帯主）、児童扶養手当全額支給世帯、給付型奨学金受給者

②調査方法と回収状況

各配布会場にてアンケート票に記入してもらい、回収

③調査期間

2025年3月8日～22日

④回収状況

調査世帯数・196、回収数・88（回収率・45%）

【調査結果の要点】

(1)前回調査（2023年3月（2年前）に実施、回収数116）との比較（顕著な変化のみ）

・雇用形態

非正規雇用が増え（60%⇒64%）、正規雇用が減少（17%⇒7%）した。

・食事（節約のために1回当たりの食事の量や品数を減らすことがあるか？）

「かなりある」と「ややある」を合計した値が、62%から79%に増加した。

(2)物価が上がっても賃金が上がらず、生活困窮がさらに厳しくなっている人が多い

・仕事をしている人で、賃金が「上がった」22%、「変わらない」69%、「下がった」7%と、物価上昇が続く中で実質賃金が低下している人が大半を占めている。

(3)値上がりしている品目のなかで特に生活に影響しているもの（括弧内は回答者中の割合）

（食品）お米・75人（85%）、野菜・64人（73%）、冷凍食品・45人（51%）、など

（食品以外）電気・79人（90%）、ガソリン・62人（70%）、ガス料金・59人（67%）、など

(4)1日1人当たりの食費

300円未満（21%）、300～499円（41%）、500～599円（15%）と、600円未満が76%で全体の約4分の3を占める。

全体の平均値=464円（1日3食だと、1食あたり154円）

※総務省「家計調査」（2023年）の1日1人当たり食費（世帯人数3～4人）の平均は、

853円

※令和6年度、甲府市の1食あたりの給食費（食材・実費分）は、小学校で265円、

中学校で330円

⇒本調査での1食あたり154円は、甲府市の給食費（食材実費）の約半分と厳しい状況が窺える。



8. 緊急災害支援の対応

全国フードバンク推進協議会との連携により、能登半島地震の復興を支援

■フードバンク能登の設立・整備支援

- ・全国フードバンク推進協議会が主導したフードバンク能登の設立に参画。
- ・事務所や倉庫の拠点整備をサポート。

■フードバンク能登への食品・物品の提供

- ・被災地における困窮者支援に取り組むフードバンク能登へ、米をはじめとした食品や飲料、物品を提供。



フードバンク能登のホームページ